

星座は、

夜空に埋まった詩。

最果タヒの詩による、

春と夏と秋と冬と、

46億年後の夜空。



詩人・最果タヒの言葉が 夜空に瞬くプラネタリウム

満天の星が輝く夜空に、朗読に合わせて文字が浮かんでは、消えていく。詩の断片が星の間を駆け巡ったり、星座線の上で弾んだり……。

星座や宇宙にまつわる詩を多く生み出してきた最果タヒの言葉が、本を飛び出しプラネタリウムに灯ります。書き下ろしを含む8篇の詩が紡ぐ「春夏秋冬と、遙か未来の星空」。古代ギリシアの人々が夜空に見出した3000年前の物語が、まだ誰も知らない未来の宇宙が、詩となって視界いっぱいに広がります。

詩と詩を繋ぐ神話の説明も全て詩人の言葉。夜空に瞬く詩を味わう、新しいプラネタリウムをお楽しみください。

詩 最果タヒ

1986年生まれ。中原中也賞・現代詩花椿賞などを受賞。主な詩集に『空が分裂する』『死んでしまう系のぼくらに』、ほかエッセイや小説など多数。紙媒体にとどまらず、映画『夜空はいつでも最高密度の青色だ』（詩集が原作）、企画展、ホテル、広告…など、詩のあり方を拡張し続けている。

デザイン 佐々木俊

モーション 大橋史

朗読 青柳いづみ

音楽 NETWORKS

銀河CG

ミハシ

制作 中川奈津子 太田垣百合子 菅原康洋 熊谷新子

企画・制作 テレビマンユニオン

制作協力 GOTO image works

配給 五藤光学研究所（番組時間 26分）